



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日 東

上場会社名 サノヤスホールディングス株式会社 上場取引所  
 コード番号 7022 URL <https://www.sanoyas.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北達 伊佐雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 福井 直也 (TEL) 06-4803-6171  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	15,277	14.8	△416	—	△289	—	△410	—
2023年3月期第3四半期	13,305	0.9	△536	—	△240	—	△259	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 122百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 △191百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△12.23	—
2023年3月期第3四半期	△7.79	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	28,360	7,999	28.0
2023年3月期	25,702	8,010	30.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 7,935百万円 2023年3月期 7,935百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	23,000	14.2	500	422.9	500	26.5	300	△29.5
								9.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期3Q	33,786,282株	2023年3月期	33,473,786株
2024年3月期3Q	47,236株	2023年3月期	47,215株
2024年3月期3Q	33,603,976株	2023年3月期3Q	33,294,125株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	(単位：百万円) 増減率 (%)
売上高	13,305	15,277	1,972	14.8
営業利益	△536	△416	120	－
経常利益	△240	△289	△49	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	△259	△410	△151	－

売上高は、レジャーセグメントにおいてパレットタウン大観覧車の営業が終了したこと等により減収となった一方で、製造業向けセグメントは半導体不況により落ち込んだ産業機械部品の製造を除き乳化・攪拌装置の製造等全般に好調であったこと、前年同期に電子部品・部材の長納期化の影響を大きく受けて落ち込んだ建設業向けセグメントが復調したこと、また2022年8月に買収した松栄電機㈱の売上高が寄与したことから、全体としては増収となりました。

営業利益は、主に建設業向けセグメントの事業特性上、第4四半期に売上計上が集中するため、第3四半期までは固定費を賄えず損失を計上する傾向にあります。当第3四半期は前年同期比増収でしたが、比較的高収益の産業機械部品の製造やレジャー事業が売上を落としたことから、黒字には至りませんでした。

経常損失の拡大は、政策投資株式の配当が減少したことによるものです。

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	(単位：百万円) 増減率 (%)
受注高	13,061	16,473	3,411	26.1
受注残高	12,695	17,165	4,470	35.2

建設業向けセグメントにおいて引き続き旺盛な建設需要を反映して好調に推移したこと、レジャーセグメントにおいて大口受注を獲得したことから、受注高、受注残高ともに大きく伸長しています。

セグメント区分

	製造業向けセグメント	建設業向けセグメント	レジャーセグメント
サノヤス・エンジニアリング㈱ 機械式駐車装置の製造及びメンテナンス ショットブラストマシンの製造及びメンテナンス 建設工事用エレベーターの製造及びレンタル	○	○ ○	
サノヤス精密工業㈱ 各種産業機械部品の製造及び組立 農機及び特装自動車用部品の製造及び組立	○ ○		
みづほ工業㈱、美之賀機械(無錫)有限公司 乳化・攪拌装置の製造 純水設備・排水処理設備及び膜分離装置の設計及び施工 大型食品タンク等各種タンクの設計及び施工	○ ○ ○		
サノヤス・エンテック㈱ 空調・給排水・衛生設備の設計及び施工 環境装置の製造及びメンテナンス 医療廃棄物処理装置の製造及びメンテナンス	○ ○	○	
ハピネスデンキ㈱ 大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造及び電気工事		○	
松栄電機㈱、松栄電気システムコントロール㈱ 通信インフラ向け配電盤・分電盤等の製造		○	
サノヤス・ライド㈱、サノヤス・ライドサービス㈱ 遊園地遊戯機械設備の製造及びメンテナンス 遊園地施設の運営管理の受託			○ ○

## (製造業向けセグメント)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	6,102	<b>6,591</b>	489	8.0
営業利益	293	<b>432</b>	139	47.4
受注高	5,345	<b>5,623</b>	278	5.2
受注残高	4,268	<b>5,031</b>	762	17.9

売上高は、半導体不況や中国向け需要の減退により産業機械部品の製造及び組立が大きく落ち込んだものの、乳化・攪拌装置の製造等において中国向けに大口売上を計上する等順調であったこと、環境装置の製造及びメンテナンスが健闘したことから増収となりました。営業利益は、売上高の増加に伴い増益となりました。

受注高は、産業機械部品の製造及び組立が低調であったものの、乳化・攪拌装置の製造、純水設備・排水処理設備の施工、環境装置の製造が堅調であり、前年同期を上回りました。

## (建設業向けセグメント)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	4,382	<b>6,311</b>	1,928	44.0
営業利益	△398	<b>△150</b>	247	—
受注高	6,837	<b>8,560</b>	1,722	25.2
受注残高	7,658	<b>10,442</b>	2,783	36.3

売上高は、前年同期に電子部品・部材の長納期化の影響を受けた高層ビル用の配電盤を主体とする動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造や機械式駐車装置のメンテ修繕及びリニューアル工事が復調した他、建設工事用エレベーターの製造及びレンタルや空調・給排水・衛生設備の設計及び施工等総じて順調でした。これに2022年8月に買収した松栄電機株の売上高が加わり、大幅増収となりました。但し、建設業界特有の第4四半期に売上計上が集中する傾向には変わりなく、赤字幅を圧縮したものの営業損失を計上することになりました。

受注については、動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造や機械式駐車装置のメンテ修繕及びリニューアル工事が復調し、受注高、受注残高ともに大きく伸ばしました。

## (レジャーセグメント)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	2,820	<b>2,374</b>	△445	△15.8
営業利益	640	<b>383</b>	△257	△40.2
受注高	878	<b>2,289</b>	1,411	160.7
受注残高	767	<b>1,691</b>	923	120.3

部品販売・メンテナンスは健闘したものの、遊園地遊戯機械設備の販売が少なかったこと、遊園地施設運営において2022年8月31日に営業を終了したパレットタウン大観覧車の売上がなくなったこと及び休日の天候不順が来客に影響したことから、前年同期比減収減益となりました。

受注については、(株)よみうりランドから観覧車を受注する等大きく受注高を伸ばしました。

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前会計年度	当第3四半期	増減額	主な増減理由
流動資産	11,807	13,809	2,002	受取手形及び売掛金 $\Delta 1,299$ 現金及び預金 1,989 仕掛品 968 契約資産 387
固定資産	13,895	14,551	656	投資有価証券 773
流動負債	10,395	13,867	3,472	支払手形及び買掛金 $\Delta 725$ 賞与引当金 $\Delta 218$ 短期借入金 3,200 電子記録債務 1,463
固定負債	7,296	6,493	$\Delta 802$	長期借入金 $\Delta 941$
純資産	8,010	7,999	$\Delta 10$	その他有価証券評価差額金 530 利益剰余金 $\Delta 578$

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現時点においては2023年5月12日に公表した数値を見直ししておりません。

(今後の当社グループの業績におけるリスク要因)

- ・地政学リスク等による部品・部材調達の遅れや原材料価格の上昇が製造業向け・建設業向けセグメントに影響を与えるリスク
- ・台風や地震等自然災害が当社や協力会社などのサプライチェーン及び顧客に与えるリスク
- ・グローバル経済の減速が顧客の売上や設備投資に影響するリスク

今後、こうした要因を含め、業績予想の修正開示が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,389	3,379
受取手形及び売掛金	5,119	3,820
契約資産	300	688
電子記録債権	1,003	1,112
商品及び製品	243	294
仕掛品	1,565	2,533
原材料及び貯蔵品	1,179	1,376
その他	1,018	615
貸倒引当金	△13	△11
流動資産合計	11,807	13,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,275	3,186
機械及び装置（純額）	1,601	1,756
土地	2,831	2,831
その他（純額）	582	418
有形固定資産合計	8,292	8,193
無形固定資産		
ソフトウェア	353	448
のれん	679	611
その他	17	17
無形固定資産合計	1,050	1,077
投資その他の資産		
投資有価証券	3,853	4,626
繰延税金資産	222	171
退職給付に係る資産	278	280
その他	206	209
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	4,552	5,280
固定資産合計	13,895	14,551
資産合計	25,702	28,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,575	1,850
電子記録債務	983	2,446
短期借入金	2,250	5,450
1年内返済予定の長期借入金	1,797	1,587
未払法人税等	91	27
契約負債	1,030	1,061
賞与引当金	370	151
保証工事引当金	69	100
受注工事損失引当金	3	38
リース債務	222	229
その他	1,002	924
流動負債合計	10,395	13,867
固定負債		
長期借入金	3,660	2,719
リース債務	575	412
繰延税金負債	1,084	1,303
退職給付に係る負債	1,661	1,742
資産除去債務	311	311
その他	2	4
固定負債合計	7,296	6,493
負債合計	17,691	20,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,603	2,626
資本剰余金	22	44
利益剰余金	3,506	2,928
自己株式	△9	△9
株主資本合計	6,122	5,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,619	2,150
繰延ヘッジ損益	1	8
為替換算調整勘定	60	91
退職給付に係る調整累計額	130	95
その他の包括利益累計額合計	1,812	2,345
新株予約権	75	64
純資産合計	8,010	7,999
負債純資産合計	25,702	28,360



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	13,305	15,277
売上原価	10,228	12,091
売上総利益	3,076	3,185
販売費及び一般管理費	3,613	3,602
営業損失(△)	△536	△416
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	358	190
その他	57	23
営業外収益合計	417	217
営業外費用		
支払利息	85	73
その他	35	15
営業外費用合計	120	89
経常損失(△)	△240	△289
特別利益		
固定資産売却益	6	1
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	6	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△233	△286
法人税、住民税及び事業税	53	84
法人税等調整額	△27	39
法人税等合計	26	124
四半期純損失(△)	△259	△410
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△259	△410

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△259	△410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	530
繰延ヘッジ損益	8	6
為替換算調整勘定	40	30
退職給付に係る調整額	3	△35
その他の包括利益合計	67	532
四半期包括利益	△191	122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△191	122
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	製造業向け	建設業向け	レジャー			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	5,906	2,508	1,972	10,387	—	10,387
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	195	1,873	847	2,917	—	2,917
顧客との契約から生じる収益	6,102	4,382	2,820	13,305	—	13,305
外部顧客への売上高	6,102	4,382	2,820	13,305	—	13,305
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1	—	1	△1	—
計	6,102	4,384	2,820	13,306	△1	13,305
セグメント利益又は損失(△)	293	△398	640	536	△1,072	△536

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△1,072百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,086百万円、貸倒引当金の調整額0百万円及びセグメント間取引消去12百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	製造業向け	建設業向け	レジャー			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	6,202	3,792	1,813	11,808	—	11,808
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	389	2,518	561	3,468	—	3,468
顧客との契約から生じる収益	6,591	6,311	2,374	15,277	—	15,277
外部顧客への売上高	6,591	6,311	2,374	15,277	—	15,277
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,591	6,311	2,374	15,277	—	15,277
セグメント利益又は損失(△)	432	△150	383	665	△1,081	△416

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△1,081百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,095百万円、貸倒引当金の調整額0百万円及びセグメント間取引消去13百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。